

News 2015年度「オランウータンの森づくり」実施！

(NPO ボルネオ オランウータン サバイバル ファウンデーション日本とNPOアジア植林友好協会共同企画)

このオランウータンの森づくりプロジェクトは、わたしたち人間の活動により、森を奪われ家なき、母親なしになった「オランウータン」のリハビリセンターの周辺の森をオランウータンの住める森に育てたいとの願いから2003年この施設開設当初より取り組んでいます。

2016年1月11日、BOS日本の代表宮崎林司がサンボジャのオランウータンリハビリセンターを訪問し、2015年分として、今年は昨年同様の森林火災被害を受けた同施設の被害地区を視察し、そのエリアでの熱帯雨林の再生のための植林を行って参りました。

引き続き施設のスタッフの皆さんが植林を実行していただいておりますが、まだまだ資金と労力不足の状態が続いています。

植林した木々が順調に育ち、いつの日かオランウータンが住める森にしてくれることを願っています。
植林した樹種は、果物のなる「ドリアン」、「ランブータン」そして将来森の主木に育つ「赤メランティー」、「カポール」、「イエローメランティー」の5種類を混植してきました。



ドリアンの実のなった状態



ランブータンの実のなった状態



レッドメランティー



カポール



イエローメランティー



※本来の熱帯雨林

◆熱帯雨林は、低い木から高い木まで5層の構造で、極めて旺盛な森林を形成しています。
主木を伐採され、焼畑が行われ、森林火災に遭いついには植生が完全に破壊され、その後二次林になります。
そこに果物の木と主木に育つ木がないのでそれらの木を植林し森づくりをしています。



周辺農民の焼畑の類焼で焼失



鎮火後約3か月が過ぎた現場



将来森の主木に育ってくれるように願って植林、現場スタッフのみなさんと

※森林火災の被害面積は約300haで現地の企業コココーラや州の団体により寄付が始まっていますが、まだまだ修復には遠く、企業、個人、団体の皆さんの費用と植林ボランティアを必要としています。ぜひとも、よろしくお願ひします。

★2015年度も継続的な参加に感謝！！

大成建設株式会社環境本部様、公益財団法人大阪特別支援教育振興会様、株式会社ぶんご様、角谷恵子様、遠藤ルミ子様南有里様、高橋聡子様、近山康子様、鈴木マガレット様、上原尚人様、近藤百合様、田口愛莉沙様、



人間活動による森林破壊は負の連鎖を生んでいます。森林がなくなり収入機会を無くした人たちが、火入れをして、焼畑→類焼。ここにも気候変動、エルニニョの影響があります。「人の心」自然との共生が必須